

令和3年度 7月号

めいいか

令和3年6月30日
文京区立明化幼稚園

自然との触れ合いを通して

園長 野田 久美子

「♪ささのは さらさら のきばに ゆれる～」、保育室から『たなばたさま』の歌が聞こえ、園内には学年のねらいに合わせて製作した色とりどりの七夕飾りが風に揺れています。七夕の日、皆の願い事が星に届くといいですね。

幼稚園では、子どもたちが植えたミニトマト、オクラ、キュウリ、ナスなどの夏野菜が大きく育ってきています。先日、年中組の子どもたちはミニトマトを、年長組の子どもたちはジャガイモを収穫して食べました。採れたて野菜を皆で食べたことで特別に美味しく感じたのでしょうか。野菜嫌いを克服して初めて食べた子もいました。ミニトマトができることを楽しみに毎日水やりをしている年少組は、緑の実ができるとうれしくて触ってしまい、何度かポロリと実が取れてしまいました。次は赤くなるまで待てるでしょうか。

年長組が収穫したジャガイモは年中組の3学期に種芋を植えて育ててきたものです。水やりや草取りをして世話をしてきました。子どもたちは、収穫したジャガイモを10個ずつ並べ、いくつあるか数えたり、重さを測って比べたり、食べられるようにきれいに洗ったりしました。収穫したジャガイモは店で売れるくらいの大きさのものから豆粒ほどのものまであり、合わせて157個の大豊作でした。

幼稚園では子どもたちが実体験を通して物事に出合えるよう、教育内容や環境を工夫しています。現在、園内で自然と触れ合える場は、狭い園庭、屋上と限られていますが、その中で栽培活動や草花遊び、虫探しなどが行えるよう環境を整え、子どもたちが自然に触れながら身体の諸感覚を働かせ、心を動かせるようにと願っています。

1学期も残すところあと1ヶ月となりました。学期の終わりにあたり、子どもたちの生活を豊かに支えてくださった保護者・地域の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



「トマトさん お水をどうぞ」(年少組) 「見て見て 赤くなったよ」(年中組) 「(ジャガイモ) たくさん採れた」(年長組)